

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【四半期会計期間】	第58期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	株式会社エフテック
【英訳名】	F-TECH INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 木村 嗣夫
【本店の所在の場所】	埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地
【電話番号】	0480-85-5211
【事務連絡者氏名】	取締役兼常務執行役員 管理本部長 豊田 正雄
【最寄りの連絡場所】	埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼19番地
【電話番号】	0480-85-5211
【事務連絡者氏名】	取締役兼常務執行役員 管理本部長 豊田 正雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期 第3四半期連結 累計期間	第58期 第3四半期連結 累計期間	第57期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(百万円)	87,528	108,954	130,609
経常利益(百万円)	1,526	3,901	4,342
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失()(百万円)	19	3,112	1,657
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,520	851	2,198
純資産額(百万円)	21,559	23,554	25,221
総資産額(百万円)	77,668	83,686	84,796
1株当たり四半期(当期)純利益金額又 は四半期純損失金額()(円)	1.59	251.88	134.16
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	16.4	15.4	18.2

回次	第57期 第3四半期連結 会計期間	第58期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(円)	67.28	357.77

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(北米)

第1四半期連結会計期間より、エフアンドピー・マニュファクチャリング・デ・メキシコ・ソシエダアノニマ・デ・カピタルバリアブレを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日までの9ヶ月間）における当社グループの経営状況は、国内においては、主要得意先の自動車生産の乗用車比率が減少し、軽自動車比率が増加しました。また、中国自動車生産の減少により当社中国向け輸出品の減少の影響がありました。

また海外においては、アジア地域が中国販売の低迷影響があったものの、北米並びにアジア大洋州における自動車販売・生産は順調に推移しており、全体として前年同四半期に比べ連結売上高は増加し、連結売上高に占める海外売上比率は増加傾向です。

このような状況において当社グループは、国内市場縮小への対応と海外事業拡大を同時に達成させるべく抜本的な事業構造改革に取り組むことが急務であると判断し、事業構造改革を実施することを決定いたしました。

これらの具体的施策として、人員の適正化、役員報酬の削減及び賞与支給の取止め、役員削減並びに久喜・亀山両事業所の生産体制改革の実施を決定し、国内事業構造改善費用として、当期に希望退職費用1,395百万円並びに亀山事業所の固定資産減損損失3,472百万円を計上いたしました。なお、亀山事業所は将来継続してキャッシュ・フローを確保する見通しであるため、重要な生産拠点として事業を継続いたします。

国内個別事業の営業黒字化と海外事業の安定的な成長を達成するべく最適な経営資源の配分を図り「良い製品を早く、安く」提供することで世界のお客様の期待に応えられるよう全力をつくして参ります。

このような中で、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、震災後の減産影響から生産、受注及び販売実績が回復したことにより、売上高108,954百万円（前年同期比24.5%増）、営業利益3,995百万円（前年同期比110.6%増）、経常利益3,901百万円（前年同期比155.5%増）、四半期純損失3,112百万円（前年同四半期は四半期純利益19百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

震災後の大幅な生産調整から国内の自動車生産が回復し、エコカー減税・補助金復活による需要刺激策はあったものの、主要得意先の販売が軽自動車へと大きく推移したことにより、売上高は27,102百万円（前年同期比3.7%減）、営業損失は453百万円（前年同四半期は営業損失812百万円）となりました。

（北米）

北米市場における堅調な新車販売を受け、主要得意先への売上が増加したことにより、売上高は58,826百万円（前年同期比46.8%増）、営業利益は3,278百万円（前年同期比155.7%増）となりました。

（アジア）

タイ洪水影響による減産からの回復等により、売上高は23,025百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益は1,169百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

（2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,109百万円減少し、83,686百万円となりました。

負債は、短期借入金増加等により、前連結会計年度末に比べ557百万円増加し、60,132百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,666百万円減少し、23,554百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

今後の経営環境は、海外の自動車生産市場の継続拡大が見込まれる一方、日本国内の自動車生産市場は軽自動車比率の増加、海外輸出の減少により縮小傾向が続くことが見込まれております。

これらに対処するため、選択と集中による投資の効率化を図りながら、成長市場へ経営資源を重点的に配分する方針であり、国内市場縮小への対応と海外事業拡大を同時に達成させるべく抜本的な事業構造改革を実施いたします。具体的には、当社の個別固定費の削減を行うため、国内本部の統廃合、久喜・亀山両事業所の生産体制改革及び従業員の希望退職者募集等を実施いたします。また、海外事業強化のため、駐在員の派遣・強化及び海外への業務移管と権限の委譲等を実施いたします。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費は一般管理費に計上した1,636百万円であり、地域別セグメントでは日本912百万円、北米640百万円、アジア83百万円となります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

株式の総数

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,360,000
計	36,360,000

発行済株式

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	12,390,000	12,390,000	東京証券取引所市場第一部	権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式であ り、単元株式数は100 株であります。
計	12,390,000	12,390,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	12,390,000	-	2,677	-	3,115

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,200 (相互保有株式) 普通株式 100,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,284,500	122,845	同上
単元未満株式	普通株式 1,300	-	-
発行済株式総数	12,390,000	-	-
総株主の議決権	-	122,845	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数10個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) ㈱エフテック	埼玉県久喜市菖蒲町 昭和沼19番地	4,200	-	4,200	0.03
(相互保有株式) ㈱城南製作所	長野県上田市下丸子866 番地7	100,000	-	100,000	0.81
計	-	104,200	-	104,200	0.84

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,229	5,115
受取手形及び売掛金	19,930	15,710
商品及び製品	2,465	3,346
仕掛品	3,321	3,114
原材料及び貯蔵品	4,524	6,261
その他	2,962	3,352
流動資産合計	38,433	36,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,431	14,196
機械装置及び運搬具(純額)	14,763	16,699
その他(純額)	11,653	10,902
有形固定資産合計	41,848	41,798
無形固定資産	1,031	1,014
投資その他の資産		
投資有価証券	2,693	3,097
その他	857	939
貸倒引当金	68	66
投資その他の資産合計	3,482	3,970
固定資産合計	46,362	46,784
資産合計	84,796	83,686
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,280	13,681
短期借入金	7,811	14,049
1年内返済予定の長期借入金	8,583	8,846
未払法人税等	649	208
役員賞与引当金	81	1
その他	6,669	6,676
流動負債合計	40,074	43,465
固定負債		
長期借入金	16,574	13,880
退職給付引当金	788	639
役員退職慰労引当金	208	198
負ののれん	95	90
その他	1,833	1,857
固定負債合計	19,500	16,666
負債合計	59,574	60,132

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,677	2,677
資本剰余金	3,115	3,115
利益剰余金	14,102	10,781
自己株式	23	18
株主資本合計	19,871	16,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324	373
為替換算調整勘定	4,745	4,043
その他の包括利益累計額合計	4,420	3,669
少数株主持分	9,770	10,668
純資産合計	25,221	23,554
負債純資産合計	84,796	83,686

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	87,528	108,954
売上原価	77,646	96,133
売上総利益	9,882	12,821
販売費及び一般管理費	7,985	8,826
営業利益	1,896	3,995
営業外収益		
受取利息	44	60
受取配当金	20	22
持分法による投資利益	10	255
為替差益	10	-
貸倒引当金戻入額	2	-
その他	37	57
営業外収益合計	124	396
営業外費用		
支払利息	471	417
為替差損	-	52
その他	23	19
営業外費用合計	494	490
経常利益	1,526	3,901
特別利益		
固定資産売却益	7	8
助成金収入	95	-
受取保険金	-	427
特別利益合計	102	436
特別損失		
固定資産売却損	13	0
固定資産除却損	49	67
投資有価証券評価損	5	4
事業構造改善費用	-	4,868
災害による損失	-	233
その他	8	1
特別損失合計	76	5,175
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	1,552	837
法人税、住民税及び事業税	901	1,493
法人税等還付税額	-	509
法人税等調整額	81	134
法人税等合計	982	1,117
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	569	1,955
少数株主利益	549	1,156
四半期純利益又は四半期純損失()	19	3,112

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主利益	549	1,156
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	569	1,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	19
為替換算調整勘定	1,879	1,009
持分法適用会社に対する持分相当額	88	75
その他の包括利益合計	2,089	1,104
四半期包括利益	1,520	851
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,427	2,362
少数株主に係る四半期包括利益	93	1,510

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

第1四半期連結会計期間より、エフアンドピー・マニュファクチャリング・デ・メキシコ・ソシエダアノニマ・デ・カピタルパリアブレを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間において、福田模具技術(煙台)有限公司は、煙台福研商貿有限公司と合併したため、連結子会社が1社減少しております。

なお、合併後の新会社は煙台福研模具有限公司に社名変更いたしました。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社(株)リテラは、決算日を2月28日から3月31日に変更しております。決算期変更に伴う当該子会社の平成24年3月1日から平成24年3月31日までの1ヶ月間の損益は、利益剰余金に計上しております。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【財政状態、経営成績又はキャッシュ・フローの状況に関する事項で、企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の判断に影響を与えると認められる重要なもの】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

事業構造改善費用

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

事業構造改善費用の内訳は次とおりであります。

1. 減損損失	3,472百万円
2. 特別退職金等	1,395百万円

なお、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額
亀山事業所 (三重県亀山市)	自動車部品 生産関連設備	建物及び構築物、機械装 置及び運搬具等	3,472百万円

当社グループは原則として、事業用資産については管理会計上の区分に基づいてグルーピングを行っており、遊休資産については個別の資産ごとにグルーピングを行っております。

市場環境の著しい悪化に対応して、久喜及び亀山両事業所は過剰生産設備や工場の集約及び相互生産補完体制の構築等の生産体制改革を実施いたします。これに伴い、将来キャッシュ・フローを見直した結果、亀山事業所の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、事業構造改善費用に含めて特別損失に計上しております。

なお、当資産グループの回収可能価額は、正味売却価額及び使用価値により測定しております。正味売却価額は主として固定資産税評価額に基づき算定しており、使用価値は将来キャッシュ・フローを割引率4.54%により割り引いて算定しております。

主な固定資産の種類ごとの金額は次のとおりです。

建物及び構築物	2,288百万円
機械装置及び運搬具	1,113
その他	71
計	3,472

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	4,789百万円	4,814百万円
負ののれん償却額	4	4

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	86	7	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金
平成23年11月7日 取締役会	普通株式	123	10	平成23年9月30日	平成23年12月1日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月21日 定時株主総会	普通株式	123	10	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金
平成24年11月2日 取締役会	普通株式	123	10	平成24年9月30日	平成24年11月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	28,148	40,063	19,316	87,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,003	468	928	8,400
計	35,151	40,532	20,244	95,928
セグメント利益 又は損失()	812	1,281	1,135	1,604

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,604
セグメント間取引消去	292
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,896

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	27,102	58,826	23,025	108,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,738	718	1,295	10,752
計	35,841	59,544	24,321	119,707
セグメント利益 又は損失()	453	3,278	1,169	3,994

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,994
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	3,995

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、事業構造改革に伴う減損損失を3,472百万円計上しており、特別損失の「事業構造改善費用」に含めて表示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	1円59銭	251円88銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(百万円)	19	3,112
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(百万円)	19	3,112
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,355	12,357

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月2日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....123百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....10円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年11月30日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月13日

株式会社エフテック
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高橋 勉	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	金子 寛人	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	坂本 大輔	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エフテックの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エフテック及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。